

# 自殺予防を 地域で取り組むために

—嗜癖問題と自殺予防—

自殺予防には、  
心の危機とアルコール依存や薬物依存、  
それともなう多重債務や  
自傷行為などの嗜癖問題とのつながりに  
どのようにアプローチするか  
という視点がかせません。  
そこで、地域で身近に生じている  
これらの問題について、自分のことや  
家族のこととして取り組むという意識を高め、  
さらに各関係団体との  
連携を深めることを目的に  
シンポジウムを開催いたします。  
多くの皆さまのご参加を  
お待ちしております。

## 2013.3.10日

10:30▶13:15

香川大学教育学部6号館 611号教室

〒760-8522 香川県高松市幸町1-1

☎087-832-1405

### program

10:30 開会

10:35 基調講演

### 「アディクション問題と自殺予防」

講師：独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所  
自殺予防総合対策センター副センター長  
薬物依存研究部診断治療開発研究室長

●松本 俊彦

11:10 シンポジスト 1 「失職して行き場を無くすまで」

AKKかがわ、香川県断酒会 ●天竺 誠

シンポジスト 2 「希望」

香川ダルク ●村上 亨

シンポジスト 3 「多重債務問題から取り組む  
ギャンブル依存と自殺予防」

高松あすなるの会 ●山地 秀樹

シンポジスト 4 「学校における自傷行為の理解と対応」

紫雲中学校 ●近藤 章子

12:10 休憩

12:30 討論 コメンテーター

●松本 俊彦

コーディネーター さぬき市民病院 ●後藤見知子

13:15 閉会

### 講師紹介

松本 俊彦氏

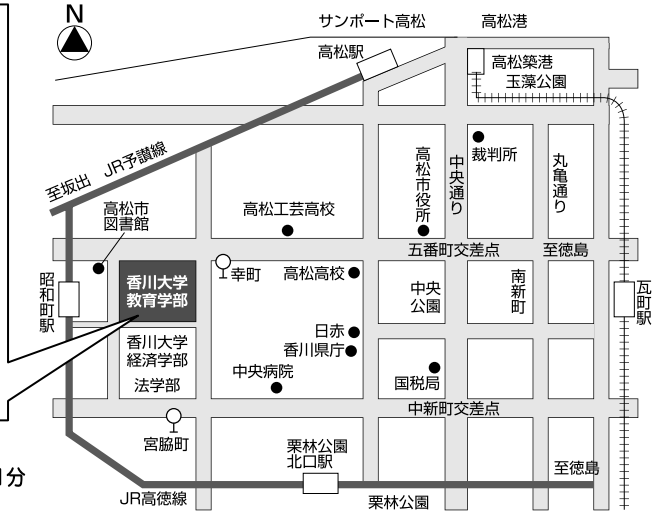
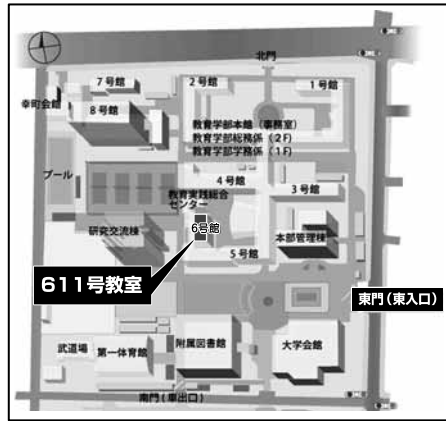
佐賀医科大学医学部卒業。精神科医。国立横浜病院、神奈川県立精神医療センター、横浜市立大学医学部附属病院などを経て、2012年より現職。著書に「自傷行為の理解と援助—『故意に自分の健康を害する』若者たち」(日本評論社)、「薬物・アルコール依存症からの回復支援ワークブック」(金剛出版)、「中高生のためのメンタル系サバイバルガイド」(日本評論社)、翻訳に「自殺リスクの理解と対応—『死にたい』気持ちにどう向き合うか」(金剛出版)ほか多数。

主催 ● 香川県臨床心理士会

後援 ● 香川県、高松市、香川県教育委員会、高松市教育委員会、香川大学、香川県医師会、香川県看護協会、香川県自殺対策連絡協議会、AKKかがわ、香川県断酒会、香川ダルク支援会、高松あすなるの会、日本臨床心理士会

お問合せ先 ● 香川県臨床心理士会事務局 TEL 087-891-2167 <http://www.kgwscpp.jp/>

## 会場案内



- JR高松駅より、徒歩…約20分
- ことでんバス「市民病院ループバス」で「香川大学教育学部前」下車…徒歩1分  
「弓弦羽行」で「幸町」または「宮脇町」下車…徒歩3分
- JR高徳線「昭和町駅」下車…徒歩3分
- お車でお越しの方はできるだけ公共の駐車場をご利用下さい。

## 参加申込方法

申込先 香川県臨床心理士会事務局

申込方法 FAXまたはホームページよりお申し込み下さい。

FAX

この用紙に必要な事項を記入の上、そのまま送信してください。

**FAX : 087-891-2168**

ホームページより

香川県臨床心理士会のホームページの「お知らせ」のコーナーにある「自殺予防シンポジウム」の申し込みフォームよりお申し込み下さい。

<http://www.kgwscpp.jp/>

定員 **150名 先着順**

申込締め切り **平成25年3月2日(土)**

\* 定員に達し次第、締め切らせていただきます。なお、定員を超えるなど、受付できなかった場合のみご連絡をさせていただきます。

\* ご記入いただきました個人情報、本シンポジウム以外の目的には使用いたしません。

## 参加申込書

氏名	お住まい(市町名)	所属	連絡先(電話番号)

**平成25年3月2日(土) 必着**

**FAX:087-891-2168**